

## GCOE特別講演会報告書

開催日時： 11月6日（金）午後4時30分～6時30分

開催場所： 理学部6号館2階201号室

講師： ノースダコタ州立大学 教授 Mukund P. Sibi

演題： Achiral Templates in Asymmetric Synthesis: Do they make an Impact ?

Mukund P. Sibi 教授は、高立体選択的有機合成反応の開発において、これまでに顕著な業績をおさめている化学者の一人である。中でも、Sibi 教授が開発した高エナンチオ選択的ラジカル付加反応は、立体制御が困難とされてきたラジカル反応の開発における、大きなブレークスルーといえる研究であり、これらの成果は国際的に非常に高い評価を得ている。今回の講演では、不斉合成反応の際用いる、基質のデザインにおけるアキラルテンプレートの有効性をわかりやすく説明して頂いた。本研究のアイデアの着想はどのようなところから来ているのかを、過去の研究までさかのぼり丁寧に説明していただき、大学院学生や博士研究員が研究を進めていく上で、どのように自身の研究と向き合っていけば良いかという指針となる考え方を示してくれた。また、アキラルテンプレートを用いた不斉合成反応の最新の成果として、Sibi 教授が最も得意とされる不斉ラジカル反応への展開について紹介して頂き、世界最先端の有機合成反応開発の成果を目の当たりにすることが出来た。

大学院理学研究科化学専攻有機化学系研究室（有機化学・有機合成化学・集合有機分子機能）、大学院工学研究科材料化学専攻有機化学系研究室（機能材料設計学・有機反応化学）、化学研究所物質創製化学研究系研究室（有機元素化学）より、教員、ポスドク約14名、学生約33名の参加があった。

